

ずくいし 議会だより

No.
110
2019.7
編集／広報広聴常任委員会
発行／岩手県栗石町議会



●今号の主な内容

6月定例会…2

町政を問う

一般質問 8議員が質問…6

常任委員会報告…16

ふるさとへの便り(76) …19

●今号の表紙／なかよしシリーズ⑤

「わたしたち3姉弟」…20



御明神小学校大規模改修工事開始 旧橋場小学校を仮校舎に

令和元年6月定例会は、6月7日から14日までの8日間の会期で行われました。

本定例会では、報告3件、条例3件、補正予算6件、その他防災行政無線整備工事請負契約議案等4件、同意8件、議員発議1件を原案通り可決・同意しました。また、人権擁護委員の推薦を決定し、3件の請願陳情を審査しました。

一般質問は、8人が登壇、町当局の考えをたしました。

令和元年度一般会計補正予算（第2号）

補正前の額	補正額	計
95億5,045万5千円	4,388万6千円	95億9,434万1千円

主な予算の内訳

▶ プレミアム付商品券事業費	2,093万4千円
▶ 定住交流促進移住支援金	200万0千円
▶ 低所得者保険料軽減繰出金	1,016万5千円

主な質疑

移住支援、請負負担は

問

【山崎留美子議員】移住支援は、ふるさと回帰センター（東京）でも行なっているが、マッチングサイトなどの費用負担はどうか。

答

センターは、移住ツアーなどサポート等行っているが、マッチングサイトは現在調整中である。

問

【岩持清美議員】移住推進支援金200万円を予算計上した根拠は何か。

答

2人以上の世帯で100万円、単身だと60万円という支援制度があり、国が2分の1、県と町が4分の1持つことになるが、町の負担分は国から全額支払われる。

プレミアム商品券事業費補助金は

問 【谷地善和議員】 以前は誰でもプレミアム商品券が買えた。今回は違うということだが、理由は何か。

答 消費税、地方消費税率の引き上げで、低所得者や子育て世帯の消費に与える影響への緩和と消費の下支えをするため、取り組むこととなったもので、対象者には個別に通知する。



町内商店街で、ぜひ買い物を

消費税率及び地方消費税の引き上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定

消費税及び地方消費税の税率引き上げに伴い、条例に規定する施設の使用料等の額を改定し関係条例の一部を改正するものを可決。

反対討論【西田征洋議員】

消費税 10 パーセントに合わせる前提での制定案と理解するが、まだ法律として成立していない。もし提案するのであれば国会で成立してから条例案を用意するべきである。

令和元年度一般会計補正予算（第 3 号）

補正前の額	補正額	計
95 億 9,434 万 1 千円	▲ 5,476 万 7 千円	95 億 3,957 万 4 千円

主な予算の内訳

▶ 御明神小学校大規模改修事業債 7,040 万 0 千円(減)
▶ 御明神診療所宿舎改修工事費 320 万 2 千円

御明神小学校大規模改修は

問 【大村昭東議員】 3 月に建設予算が決定し、5 月に臨時議会で追加があった。また直ぐに減額補正となったのはあり得ないことだが、その原因は何か。

答 設計業者との協議不足や綿密な打ち合わせが不足していた。また、事務の進ちょく管理が甘かったことが大きな原因と捉えている。

※御明神小学校大規模改修工事に係る仮設校舎については、5 月の臨時会で議決しましたが、6 月議会定例会においてプレハブ校舎ではなく、旧橋場小学校校舎を活用することとなりました。（臨時会の詳細は 5 頁に記載）

請願・陳情

陳情第 1 号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元を図るための、2020 年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願
提 出 者	岩手県教職員組合 いわて盛岡支部 支部長 栗田裕年
審 議 結 果	採択

陳情第 5 号	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情
提 出 者	「新しい提案」実行委員会 代表 安里長従
審 議 結 果	不採択

陳情第 6 号	辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情
提 出 者	全国青年司法書士協議会 会長 半田久之
審 議 結 果	不採択

令和元年第 4 回 雫石町議会 6 月定例会 会期：6 月 7 日(金)～6 月 14 日(金)

議案等 番 号	議 員 名 件名	細川祐弘	堂前義信	横手寿明	岩持清美	山崎留美子	杉澤敏明	川口一男	西田征洋	谷地善和	村田厚生	石亀貢	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	加藤眞純	採決結果
議案第1号	消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	可決
議案第2号	雫石町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第3号	雫石町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第4号	令和元年度雫石町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第5号	令和元年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第6号	令和元年度雫石町立雫石診療所特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第7号	令和元年度雫石町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第8号	令和元年度雫石町下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第9号	雫石町防災行政無線整備工事（第1期）の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第10号	あっせんの申立てに関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第11号	財産の取得に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
(追加)議案第12号	令和元年度雫石町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	可決
(追加)議案第13号	御明神小学校大規模改修工事（その1）の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
同意第1号	監査委員の選任に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
同意第2号	雫石町御明神財産区管理委員の選任に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
同意第3号	雫石町御明神財産区管理委員の選任に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
同意第4号	雫石町御明神財産区管理委員の選任に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
同意第5号	雫石町御明神財産区管理委員の選任に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
同意第6号	雫石町御明神財産区管理委員の選任に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
同意第7号	雫石町御明神財産区管理委員の選任に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
同意第8号	雫石町御明神財産区管理委員の選任に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
発議第1号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成、●…反対、欠…欠席、－…退席 ※前田議長は採決には加わりません。

令和元年第 3 回 雫石町議会臨時会 会期：5 月 15 日(水)

議案等 番 号	議 員 名 件名	細川祐弘	堂前義信	横手寿明	岩持清美	山崎留美子	杉澤敏明	川口一男	西田征洋	谷地善和	村田厚生	石亀 貢	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	加藤眞純	採決結果
承 認 第 1 号	雫石町税条例等の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求 めることについて	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	承認
承 認 第 2 号	平成 30 年度雫石町一般会計補正予算（第 9 号）の専決処分に関 し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	承認
承 認 第 3 号	平成 30 年度雫石町御明神財産区特別会計補正予算（第 2 号）の 専決処分に関し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	承認
議 案 第 1 号	令和元年度雫石町一般会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成、●…反対、欠…欠席、－…退席 ※前田議長は採決には加わりません。

令和元年第3回臨時会が5月15日(水)に開催され、令和元年度雲石町一般会計補正予算(第1号)を審議し、議決したほか、専決処分3件を承認しました。

○令和元年度雲石町一般会計補正予算(第1号)

補正前の額	補正額	補正後の額
93億6,500万円	1億8,545万5千円	95億5,045万5千円

主な予算の内訳

- ▶地域交流拠点施設源泉設備改修工事 18,786千円
- ▶地域交流拠点施設複合型受信機更新工事 4,232千円
- ▶御明神小学校大規模改修工事監理業務委託料 17,000千円
- ▶御明神小学校大規模改修工事(増) 145,214千円



落雷被害を受けた道の駅源泉施設を視察する委員

主な質疑

問

【杉澤敏明議員】1年足らずしか使わない仮設校舎に、補助金も無しで1億円近い金額を使うことについて、財政運営の観点から査定が甘いのではないかと。

答

旧小学校校舎を使用することも検討したが、それぞれに工事が必要等の問題があった。PTAからは、教育環境の大きな変化等に反対があり、その他総合的に判断して仮設校舎使用を決定した。

問

【西田征洋議員】小学校統合にトータルで今後どれくらいの費用がかかる予定なのか、今までかかった費用は。

答

小学校統合に係る全体費用については算出したものが無い。今後作成して報告したい。

問

【上野三四二議員】空き校舎を活用した場合、スクールバスなどの経費面と比較する必要がある。当局から、比較検討材料を示してもらわないと判断が難しいがどうか。

答

今回の補正額と新築や空き校舎活用等の正確な数字での比較はしていない。今年度中に改修工事を完了するにはどうしたらいいかということで検討してきた。

問

【大村昭東議員】設計業者は、建設当時の設計書と現状について、しっかりと精査すべきであり、当局の担当課も確認すべきではなかったか。

答

業者に対し、適切な進ちょく管理ができていなかった。主査制が弊害となっている。今後は、行政運営をきちっと体制を作って進めていきたい。

問

【山崎留美子議員】仮設校舎の件は、当局と議会と住民の三者で課題を共有してこなかったことが原因だと思われる。このような事が無いよう、事業精査については、第三者のチェック機関が必要ではないか。

答

今後の精査については、若干時間がかかるが、内部検討の中で進め報告する。

討論要旨

反対討論【西田征洋議員】

小学校統合に代わる事業に対する財政の代替措置の表明が無く、今後の財政運営に大変な不安が残る。今回で町の借金は約90億円になる。今後の財政運営に関し、負担軽減措置を図って頂きたい。

賛成討論【川口一男議員】

今までの御明神小学校の増築などは御明神財産区有林を活用してきた。今御明神小学校の仮設校舎約9千万円について議会が反対していいのか。金額は多額だが子どもたちのため、お世話になった御明神の方たちのために本議案を通すべき。

6月定例会

一般質問 町政を問う 8議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

質問者	質問内容	掲載頁
 すぎさわとしあき 杉澤敏明議員	農畜産加工品の販路確保と拡大策は	7
 にしだ まさひろ 西田征洋議員	14 ^{ヘクタール} への今後の対応は	8
 ほそかわゆうこう 細川祐弘議員	子どもが多い家庭への支援策は十分か	9
 うわの みよじ 上野三四二議員	町民の認知症の人数は	10
 やまざき るみこ 山崎留美子議員	地域づくり、住民提案の予算編成枠を	11
 おおむらしょうとう 大村昭東議員	町有地活用事業の評価検証は	12
 いわもちきよみ 岩持清美議員	鶯宿温泉開発(株)補助金に問題はないか	13
 いしがめ みつぎ 石亀 貢議員	まち・ひと・しごと創生総合戦略は	14

議会の傍聴においでください

新議員による初議会は、8月6日(火) 午前10時開会(予定)です。
9月定例会は9月4日(水) 午前10時開会(予定)です。
インターネットでもご覧になれます。
雫石町役場ホームページまたは、下記のアドレスからご覧ください。

公開用 URL <http://smart.discussvision.net/smart/shizukuishi/>

ここが聞きたい一般質問

農畜産加工品の販路確保と拡大策は

町長 6次産業化・地産地消推進戦略により促進

質問者／^{すぎさわとしあき}**杉澤敏明 議員**

加工品の販路確保にも
力を入れ、
事業が継続できるように
するべきだ。



問 町は、31年3月に「雫石町6次産業化・地産地消推進戦略」を策定し、これに基づき販路の確保・拡大と農商工観連携を促進するとしているが、具体的な取り組み内容はどのようなものか。

町長 消費者ニーズが多様化する中で、本町では重宝料理を活用したバイキング方式での料理提供、雫石牛や南部かしわなどの町産食材を使用したメニューを提供する飲食店が増加してきており、今後さらに提供店を拡大していくために更なる魅力発信や販路拡大に取り組むたいと考えている。魅力ある山菜、キノコなどの天然食材や漬物などの活用を推進するほか、農商工観の分野で連携した実需者ニーズの把握や盛岡農業農村振興協会などが開催する商談会、展示会等へ生産者とともに参加し、実需者と生産者のマッチングを図り、販路の確保・拡大を目指す。

問 既に良い特産品もあるので、実需者から、これらの良さを認めてもらい、安定した販売ができるようにすることが重要ではないか。

町長 販売に苦戦しているのは承知している。加工施設の方々が協同で、スーパーと連携し、この販売網に乗せてもらうのも一つの方法である。加工場経営者の高齢化もあるので、新規に取り組む人の発掘も重要になる。様々な課題を全部踏まえた中で、雫石町6次産業化・地産地消推進戦略に基づき進めていきたい。

今後の行政組織体制は

問 新たな行政改革実施計画の策定に取り組んでいると思うが、今後の行政組織体制をどのようにしようと考えているのか。

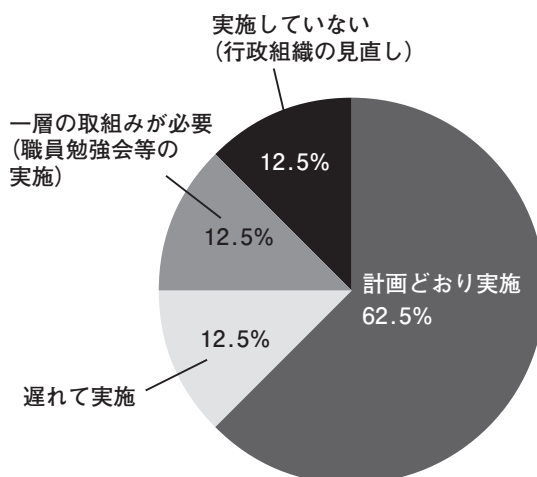
町長 限られた財源、人材などの行政資源を有効に活用しながら健全かつ安定的な行政経営を構築し、重点政策の推進に適した機動的、効率的な組織体制にしていきたいと考えている。

問 課長補佐制を復活したが、係長制も復活するつもりか。

町長 係長制は、考えていない。当面は、課長補佐制でやっていく。

30年度行政改革実施計画取り組み状況

取組項目 4 時代に即した行政組織体制の構築



ここが聞きたい一般質問

14ヘクタールへの今後の対応は

町長 会社への今後の捜査を見守る



質問者／にしだまさひろ
西田征洋 議員

長山の汚染河川流域に
立ち枯れが目立ちますが
関係あるのかな…。

問 新聞報道によると町有地 14 ヘクタール開発の担当会社の粉飾決算で強制捜査があったと聞く。この様な会社と今後も提携していくのか。

町長 今後の進展状況把握の情報収集に努め、総合的に判断する。

長山の河川汚染対策の進展は

問 今の時点での進展はないと聞いたが、水質検査や今後の改善策は。

環境対策課長 水質検査は事業者が年 2 回やっていると聞いており、河川状況改善に向けて各方面と広く相談する等いろんな人たちも交えて協議するなどして解決の展望を見出したい。

電気柵補助、後退していないか

問 有害鳥獣対策の電気柵補助事業で、有効性を散々宣伝しながら制限を強めたりして事業そのものは後退していないか。

農林課長 被害拡大が懸念されるなか、広く利用を図りたいが、限りある財源での対応となる。

住宅リフォーム事業助成は

問 住宅リフォーム助成事業復活で町内経済の活性化の一助につなげられないか。

町長 公益上の必要性や事業効果が薄れたと判断してやめたもので、今は復活を考えていない。

町道除排雪事業の入札方式は

問 議会答弁で入札方式だとしているが。

地域整備課長 紛らわしい表現で誤解を与えたことは申し訳ないが、実際は随意契約である。



イノシシ、クマの被害防止に効果がみられる電気柵

ここが聞きたい一般質問

子どもが多い家庭への支援策は十分か

町長 独自に出産祝金支給と保育料軽減など実施

質問者／^{ほそかわゆうこう}細川祐弘 議員

総合力＝首長×職員×議員、
各自8割得点では及第点ではない。



少子高齢化対策と人口減準備は

問 若年女性の正規雇用対策をどう考えるか。

町長 非正規雇用の割合は女性が約40パーセントと男性約15パーセントよりかなり高い。2017年度より仕事と家庭の両立を図る町内イクボス事業取組中（現在10社）。関係機関と連携し産業関係団体へ正規雇用拡大を要請したい。

問 高齢者医療、介護シェアハウス、独居老人対策などを考慮したコンパクトタウン構想を都市計画に盛り込む考えはないか。

町長 基礎となる立地適正化計画策定を進め、コンパクトシティプラスネットワーク構想*を構築する必要がある。

長寿健康対策は

問 当町はメタボ県内ワースト。長寿健康対策について他市町村の優れた事例、基礎代謝向上筋力アップ、事例発表会について考えはあるか。

町長 遠野市のICTデータ活用による健康状態の見える化等の事例がある。健康対策の習慣化・生活化と共に筋力アップも効果が高いと考えている。事例体験発表会は身近に健康づくりを始めるきっかけとして最適と考える。

*コンパクトシティプラスネットワーク構想…まちづくりと連携し、公共交通ネットワークを再構築するための新たな仕組み

人材バンク・産興大使構想はどうか

問 人材バンク、産業振興大使による町の活性化が期待できるのではないか。

町長 まちづくりパートナー制度が現存し15名登録済みだが縮小傾向であり改善が必要。産興大使の考えは今はないが在京町友会等の活用で第2次産業の活性化に取り組みたい。

産業別労働生産性は

問 過去30年間で町の産業別・業種別労働生産性はどのように推移したか。

町長 産業別は国勢調査年に合わせて関連データを抽出し次の通りとなった。

	1985年	2015年
1) 第1次産業 (農林水産業)	2,052 千円/人	1,934 千円/人
2) 第2次産業 (鉱業、製造業、建設業)	4,929 千円/人	6,894 千円/人
3) 第3次産業 (商業、サービス業他)	3,705 千円/人	6,965 千円/人

業種別では概ね1.5～2.0倍に増加したが、農業は91.6パーセントに低下した。これは自家消費農家の存在等も影響し国や県も同様の傾向である。

問 この事実を次期総合計画(2020年度)へどのように反映させる考えか。

町長 データの活用と検証により確かな根拠に基づく政策立案を進める。

ここが聞きたい一般質問

町民の認知症の人数は

町長 高齢者 607 人、若年認知者 8 人支援必要

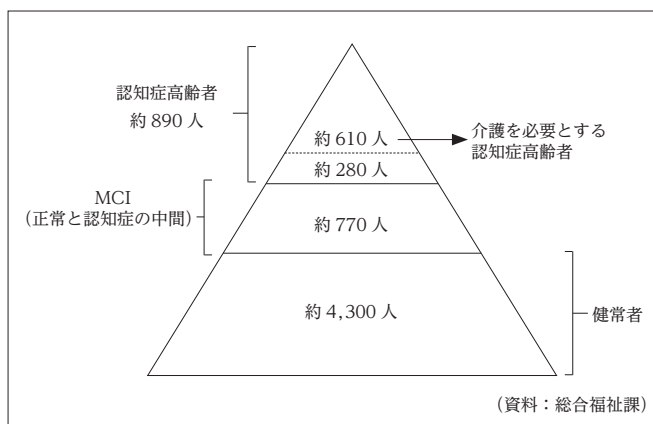


質問者／^{うわのみによじ}**上野三四二 議員**

もっと独自性、自信と責任、
誇りがほしいね…。

問 町民認知症患者は増加しているが、高齢者と若年有病者の実態はどうか。

町長 認知症は病気で、日常生活に支援を必要とする 65 歳以上高齢者 607 人、65 歳未満の若年認知者は 8 人いる。2025 年までの推計では 890 人と見込まれる。地域包括センターでは認知症総合支援事業として、認知症サポーター養成講座、認知症地域支援推進員配置、医療機関、介護サービス施設など連携して対応している。



雫石町認知症高齢者の現状（推計）

雫石牛ブランドの振興策は

問 生産者、頭数とも減少しており、専門的大規模経営支援も必要である。また余力あるシニアグループの力を借り遊休草地を再利用したり、雫石牛の改良増殖や優良牛の保留など再振興策があるが、生産者をどうするか。

町長 生産者や飼養頭数は高齢化などで減ってきたが、若手経営者を重点に支援して

おり、若干であるが増頭してきた。繁殖農家の減少で育種事業も町レベルでは取り組みは難しい。保留対策は現時点では考えていない。シニアグループは、労働力不足や規模拡大農家の労働力補てんヘルパーとして検討したい。

学校教育現場の課題は

問 小学校統合後に動揺や変化はないか。また、特色ある教育をどう進めるか。旧学区など含め統合後の意識調査が必要ではないか。将来を展望し、小中一貫校の検討の考えはどうか。

教育長 現場からは特に動揺や行動変化の報告は受けていない。伝承芸能や伝承学習など特色づくり事業も継続して取り組んでいる。ふるさと雫石への誇りと愛着を持つ子ども育成に努める。小中一貫校は現時点で考えていない。

雫石高校の再編に不安

問 県立雫石高校の再編の再検討が報道されている。本町としてどのように存続提起していくか。

町長 入学や就学時の一部助成、給食の半額助成や芸能文化活動における海外費用援助、高校を支援する会の援助、タブレット活用支援ほか惜しみない支援をしている。中山間地である高校としては地域に根ざした魅力ある学校づくりを推進するため、施策を協議して存続を訴えていく。

ここが聞きたい一般質問

地域づくり、住民提案の予算編成枠を

町長 文化基金や助成事業で環境づくりを進める

質問者／^{やまざきるみこ}**山崎留美子 議員**

重ねてきた町有地への一般質問、
休まなかったことは皆勤かな？



問 27年度に地域住民を主体として作成した4地区別地域づくり計画があるが、今年度は30万円で10万円減額になった。事業の評価と成果は。

町長 各地区の交付金支出実績を参考に30万円とした。西山運動会や御明神地区のどろりんピック開催や、よしゃれ通り商店街や中学校野球部などの関係団体との協働で開催した雪灯り、鶯宿温泉を訪れるきっかけとした「思い出さんぽ」など有効活用された。計画は20年後の将来像を目標とした長期的なもの。地域コーディネーターなど相談体制の充実を図り支援を行っていく。



地域づくり、成果のひとつ 西山マップ

問 奥州市では、住民税の1パーセント予算を協働のまちづくりに当てている。同様に、住民が地域づくりの企画や事業の提案をして、町は事業内容や役割分担等を協議、協働を推進する予算編成枠導入の考えはないか。

町長 他の自治体においても、一定の予算枠内で審査の上、採択実施していることは承知している。協働事業の視点から、町はふるさと文化基金を設置しており、現在の基金条例や助成事業の実施要項を見直しながら誰もが参画できる環境づくりを進めていく。

セツ森ヴィレッジ、町の考えは今どこに

問 地方創生に関し地域連携協定している民間会社は粉飾決算の疑いで捜査中である。まちづくり会社への出資も未定だが、町の主体性が今こそ求められているのでは。

町長 年内あるいは年度内に方向性を出したい。

■他にこんな質問もしました
・町の会議のありかたについて

ここが聞きたい一般質問

町有地活用事業の評価検証は 町長 町の産業振興に成果あった



質問者／^{おおむらしょうとう}大村昭東 議員

町づくり会社の資本金
1,590 万円なくなっているとは
どういうことだ？

問 過去 8 年間の産業の産を除いた「学・官・民」の、まちづくりの評価検証示せ。

町長 現在、第三次町総合計画策定作業で検証しており、究明の段階に至っていない。

問 早稲田大学と共同研究の政策プロジェクトと町有地活用事業プロジェクトをどのように評価検証したのか。

町長 住みよいまちづくりに一定の成果を果たしており、町有地活用事業プロジェクトについては、町の産業振興に一定の成果はあった。

総生産県内順位低下

問 市町村内総生産をみると、盛岡広域管内では矢巾町、八幡平市、葛巻町が県内順位を上昇させているのに、雫石町は県内順位、割合が低下していることを指摘してお

く。町有地活用事業計画は、29・30 年度内に 8 億円で各施設を整備するという、いいことづくめの説明があったが、説明だけで終わりつつあるのはなぜなのか。

政策推進課長 主体となる事業者の撤退によって、計画が止まったことを反省している。

問 通称まちづくり会社の計画が今もって実行できないのはなぜなのか。

政策推進課長 事業社 A 撤退後、事業社 B と検討してきたが、事業社 B にも問題が発生し、前に進めないでいる。

資本金 1,590 万円はどこに消えた

問 まちづくり会社の資本金 1,590 万円が無くなっているという、どういうことだ。

政策推進課長 そういう事実はない。

市町村民経済計算からみた雫石町の実力（平成 30 年 4 月）

①一人当たり市町村民所得

雫石町の平成 27 年度の一人当たり市町村民所得は、2,441 千円となっており、県平均対比 88.4 と県内市町村順位は 23 位と下位 3 分の 1 グループに入っている。

これを 5 年前の平成 22 年度（県内順位 14 位、盛岡広域順位 5 位、県平均対比 91.2）に比べ、県内順位、県平均対比割合が大幅に低下している。

	平成 22 年度	平成 27 年度
岩手県 計	2,301 千円	2,760 千円
うち雫石町	2,099 千円	2,441 千円
（雫石町の割合 %）	91.2%	88.4%（▲ 2.8%）
県内順位	14 位	23 位（▲ 9）
盛岡広域順位	5 位	5 位

（注）震災復興事業関連で沿岸部の市町村の伸びが著しいが、盛岡広域管内でも、葛巻町が県平均対比の水準を上昇（79.6 → 81.1）させているほか、隣接の西和賀町も上昇（81.4 → 85.2）させている。

②農業産出額

雫石町の 2016 年（平成 28 年）の農業産出額は、①米（1,940 百万円）、②肉用牛（1,470 百万円）、③野菜（1,310 百万円）、④生乳（1,120 百万円）が太宗を占め、約 69 億円に達している。

盛岡広域では、盛岡市（185 億円）、岩手町（136 億円）、八幡平市（135 億円）、紫波町（76 億円）に次いで 5 番目となっている。

※（参考）耕作面積当たりの農業産出額

雫石町（1,218 千円/ha）、八幡平市（1,803 千円/ha）、葛巻町（1,522 千円/ha）、岩手町（1,522 千円/ha）、紫波町（1,420 千円/ha）

ここが聞きたい一般質問

鶯宿温泉開発(株)補助金に問題はないか 町長 改善計画書の提出を求める

質問者／^{いわもちきよみ}**岩持清美 議員**

鶯宿温泉は、鶯宿温泉開発(株)が配湯している旅館だけではない。鶯宿温泉全体が活性化できる金の使い方を望む。



問 鶯宿温泉開発(株)の30年度の決算は、黒字で株主配当も行っている。町は、38パーセントの株を所有する筆頭株主でありながら、鶯宿温泉開発(株)の自己資本増強のため、配当金を受け取っていない。又、町の補助金見直し基準に照らしても問題が多いと思うがどうか。

町長 補助金の交付では、鶯宿温泉開発(株)に対して経営改善計画書の提出を求め、内容を精査し、議会にも示したうえで、補助金を交付するか否かを決定していく。

問 鶯宿地区入湯税のうち、鶯宿温泉開発(株)の配湯利用以外自己保有源泉施設の入湯税割合はいくらか。

町長 30年度入湯税見込み額は、町内全体で7,050万円程で、鶯宿地区は2,524万円余りであり、自己保有源泉施設入湯税の占める割合は、鶯宿地区全体の約49パーセントである。

七ツ森ヴィレッジ、事業化できるのか

問 町は、事業者と地方創生に関する連携協定を締結し、七ツ森ヴィレッジの開発計画提案を持っている。しかし、事業者は、有価証券報告書虚偽記載の疑いで強制捜査を受けているが、契約は継続するか。

町長 事業者より明確な回答が得られていないので、捜査の状況把握と情報収集に努め、総合的に判断する。



鶯宿温泉開発(株)が運営する旭乃湯源泉施設

ここが聞きたい一般質問

まち・ひと・しごと創生総合戦略は 町長 誰もが住みやすいまちづくり



一人ひとりが生き生きと暮らすことができるまちづくりを期待する。

質問者／石亀 いしがめ みつぎ 貢 議員

問 日本創生会議が平成 22（2010）年から 30 年間の人口移動を推計し、896 自治体が消滅する可能性が高いと公表、令和 22（2040）年に雫石町の人口は 11,300 人を下回る推計である。国は人口減少と地域経済の縮小を克服し、将来の成長力確保を目指し、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、自治体に情報、人材、財政面の支援をしているが、空き家、空き店舗を利活用した定住支援について伺う。

町長 まち・ひと・しごと創生総合戦略は、誰もが住みやすいまちづくりを基本目標とし、空き家を利活用した定住の推進と定住希望者の住宅新築支援を行う。30 年度空き家バンク登録 28 件の内訳は、売買 5 件、賃貸 8 件、解体理由で取り消し 9 件、現登録 6 件である。住宅新築支援として町産材利用、クリーンエネルギー設備、浄化槽設置等に補助金制度がある。

問 令和元年（2019 年）、転入者目標を 500 名としているが見通しはどうか。

政策推進課長 29 年度 366 名、30 年度は 338 名の転入者で目標に向けて進める。

債権管理条例について

問 人口減少と財政基盤強化が重要課題であるが、町民負担の公平性、未収債権の効率的な縮減に債権管理条例を 30 年度施行したが成果はどうか。

町長 収入未済額全体の 8 割以上は町税、国保税が占め、全体に影響を及ぼしている。随時、未納者と相談確保に努める。



空き家の利活用で定住支援を

第41回 在京雫石町友会主催の交流会に参加して

令和元年6月15日(土)、第41回在京雫石町友会の総会と交流会が東京都 JR 山手線日暮里駅東側にあるホテルラングウッドにて開催され、参加してきました。

午前中に在京雫石町友会総会がおこなわれ、正午からの交流会に参加するため当議会からは前田議長、石亀議員、西田議員、横手議員、細川議員の5名、町当局からは猿子町長、若林副町長、作山教育長ほか7名が参加し、その他にも階猛衆議院議員夫人の美和子さん、ハクセル美穂子県議会議員、松原久美観光協会理事長、さらに郷土芸能の部で中川愛子さん、福田キヌエさん、山上衛さん、高藤理佳さんが参加しました。

町友会会員の皆さん54名と特別来賓者を含め総勢84名が交流会に参加し会場は大変

盛り上がりしました。

交流会のはじめに、これまで町友会長を務めてきた新里孝二さん(御明神出身)が勇退し顧問になられ、新会長には、高畑昭四郎さん(西山出身)が就任したとの報告があり、高畑新会長からご挨拶をいただきました。

その後は雫石談議や郷土芸能、交流会終盤には多摩相撲甚句会長でもある幹事の中嶋重美さん(御明神出身)から来年10月3日(土)に第12回相撲甚句全国大会(約150名が参加予定)が雫石町中央公民館野菊ホールを会場に開催されると発表がありました。

中嶋さんの相撲甚句も披露され、会場からは「はぁ～どすこい～どすこい」の掛け声も上がり、今年も楽しい交流会となりました。



勇退した新里前会長



挨拶する前田隆雄議長



参加者も加わりにぎわった郷土芸能



常任委員会報告

総務産業常任委員会

調査① 災害復旧工事及び橋架替工事

西長橋、鶯宿橋を視察

6月13日、平成29年8月豪雨により被災した町道雫石環状線西長橋の復旧状況及び鶯宿橋の架替工事状況を調査しました。

西長橋は、増水により橋脚1基が沈下し、通行不能となったものです。工事期間は3月15日まででしたが、8月30日まで延長し、現在は橋脚基礎工事が終わり、お盆までの開通を目指して作業しています。

鶯宿橋は、架設以来60年以上経過し、老朽化が進んでいるので架替工事を実施しています。現在は、下部工（橋台）の施工中であり、8月末までに通行可能とし、その後付帯工事を行うとのことです。



西長橋の工事を視察する委員

調査② 橋場道の駅源泉設備改修工事

落雷の被害調査

5月7日深夜の落雷により、道の駅雫石あねっこで使用している源泉及び水道施設水源ポンプが破損したもので、現在は仮設復旧でお湯と飲料水の供給をしております。新たに避雷針も設置し、9月初旬の完成を目指しています。

〔岩持清美委員長〕

教育民生常任委員会

調査① 御明神小学校大規模改修

改修内容と仮校舎（旧橋場小）を確認

5月15日、大規模改修する御明神小学校を現地視察しました。校舎、中庭、体育館、給食棟について改修内容の説明を聞きました。

また、6月13日には改修中の仮校舎として使用される旧橋場小学校を現地視察し、修繕内容やスケジュール等について聞き取り確認しました。



御明神小学校給食室を視察

調査② 西山小学校並びに放課後児童クラブ

統合後の状況を聞き取り

5月15日、西山小学校並びに新築された放課後児童クラブを現地視察しました。西山小学校では統合後の校舎の問題点等を校長先生から聞き取りし、放課後児童クラブでは新築された際の問題点が改善されているかを確認しました。



旧橋場小学校で改修内容の説明を受ける委員

〔横手寿明委員長〕

広報広聴常任委員会

〔山崎留美子委員長〕

広報編集会議

一般質問の掲載記事を編集委員もチェック

「しずくいし議会だより」の発行に当たっては、定例会の開会日に第1回目（発行までには4回開催）の編集会議を行い、割り付けやそれぞれの記事作成の分担、編集日程を決めるほか、前号の発行で明らかになった課題への対応も話し合われます。

皆様に的確な質疑内容を伝えるため、編集委員は、日々努力し一丸となって編集に取り組んでいます。



編集作業中の委員

全国町村議会議長会表彰を受賞

この春、議会活動を通じて、地方自治の進展に大きな役割を果たした自治功労者として、7名の議員が全国町村議会議長会表彰を受賞、4名の議員が岩手県町村議会議長会表彰を受賞しました。各受賞者は下記のとおりです。

●全国町村議会議長会表彰

◇15年以上在職

前田隆雄議長、上野三四二議員、大村昭東議員、石亀貢議員、村田厚生議員、谷地善和議員、西田征洋議員

●岩手県町村議会議長会表彰

◇11年以上在職

加藤真純副議長、川口一男議員、杉澤敏明議員、山崎留美子議員



3月定例会において議長から表彰状を伝達された議員



よし だ たけつぐ

吉田武継さん (86 歳・大村行政区)

すばらしい男助山をみなさんに

この場所に来て眺める男助山は最高です。周辺の環境に邪魔されることもなく、くっきりと浮かぶ雄大な山のすそ野に山の神様、神木を備えている山を考える時、歴史の重さを感じます。春夏秋冬、四季折々に衣を着替え、地域の人を励ましてくれます。特に秋の紅葉の時は四方の山々と相まってふるさと大村を錦の山里としてくれます。ぜひ、どうぞ。



はれやま

晴山マツエさん (78 歳・晴山行政区)

我が家のキャラボク

成長が遅いといわれる木ですが、庭木としてこれだけ大きく成長し、しかも綺麗に剪定されたキャラボクは珍しい、一見の価値があります。

樹齢は 50~60 年と思いますが定かではありません。



皆さんの声を聞きました

議員が町内を歩いて
皆さんの声を聴く VOICE シリーズ。

今回は「あなたのお勧めスポットは？」です。



さとうえいじ

佐藤衛二さん (64 歳・黒沢川行政区)

七ツ森での自然逍遥

雫石町に来て約 20 年になります。出張の多かった私にとっては、我が家と同じ七ツ森を見ると「やっと帰ってきた」という安心感を得られる景色です。

春夏秋つつましくもたくましい草木・野鳥の声、ひょっこり現れる狐に癒されながらぶらぶら歩き。冬は、雪を踏みしめて、汗をかきながら四つの森を歩き自らの健康診断をする私は、もうすっかり雫石町民。



たかはしょうじ

高橋洋二さん (77 歳・駅前行政区)

農地から観る大パノラマ

岩手山、姥倉山、三ツ石山、高倉山、湯森山、駒ヶ岳、男助山、女助山、和賀岳、西安庭新平から観る山々は素晴らしい。私は、77 歳になり、無農薬農業を志している一人です。町内の方々が笑って食事をしている光景を夢見て頑張っています。

ふるさとへの便り—76

在京雫石町友会 会長

高畑 昭四郎さん



昭和と平成と令和へと続く「絆」のバトンタッチ

去る6月15日に開催された在京雫石町友会総会において6代目の会長に就任いたしました。微力な私ですが、14年間事務局長として歴代会長の手腕を学んできた経験をいかして、また会員皆様と関係者の方々のご指導とご支援を賜り、その任を誠心誠意努めてまいりたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

思えば昭和53年中屋敷博町長時代に、盛岡一高雫石分校（現雫石高校）卒業生を中心に誕生し、その後多方面の関係者に拡大して、昭和・平成を歩み令和の新しい時代に突入した「雫石町友会」です。初代会長は上野義臣氏、その後田口武会長、中嶋重美会長、坂本巳由会長、新里孝二会長へと「絆」の精神で40年間バトンを繋いできました。

本会は、首都圏を中心に全国で故郷を離れて生活している雫石出身者と雫石にゆかりのある人々の集まりです。故郷雫石町との交流を図る目的で発足して40年経過しました。この間、歴代の会長さん、諸先輩の方々、役員の皆様の献身的なご尽力により、バトンを繋いでまいりました。これからも今までの路線を継続して、より一層故郷雫石との『絆』が深化するよう努力して、次世代へ引き継いで行きたいと思っております。

①会員への雫石の情報提供。②首都圏で実

施されている町の物産展等への協力。③軽トラ市や総合芸術祭等町の諸行事への参加、協力。④町のイメージアップに繋がるようなPR活動に協力。に取り組んでいきたいと思っております。

ある方の著書に「雫石を含む盛岡周辺エリアは日本で一番四季がはっきりしていて美しい地域(町)」と書かれているそうです。私もそのことをかみしめながら帰省した折には故郷の季節を楽しんでおります。様々な事情を抱えながらも、希望、志を持ってふるさとを離れた私たちですが、住んでいる時は気付かなかった故郷の良さは離れてみて特に感じるものです。町友会はそのような人たちの集まりです。

町民の皆様へのお願いは、ご家族・ご親戚・ご友人で故郷を離れて生活されている方がおりましたら是非ご紹介ください。下記の町友会事務局または町役場総務課までお知らせください。今後も、町友会のために町民の皆様と関係者の皆様のご指導とご支援の程よろしくお願い申し上げます。

(町友会事務局：

〒350-1317

埼玉県狭山市水野 467-102-3-102

柿木良三 ☎ 080-3483-0609)



昭和58年当時の町友会



令和元年町友会

昭和22年生まれ。西山八区出身。昭和41年三菱銀行（現三菱UFJ銀行）入行。SE（システムエンジニア）として主にコンピューター業務歴任。定年後ファイナンシャルプランナー及び宅建主任者、ビル管理業務を歴任。岩手県人連合会広報部長として活動。現在雫石町観光大使。千葉県船橋市在住。72才。

雫石町へようこそ

＼ ご縁があり、町外から移住したご夫婦 ／

たけだ こうぞう
武田 耕造さん（65歳・滝沢市出身） | （林行政区在住） |

Ｑ お二人の馴れ初めは

Ａ お互いに再婚ですが、知人の紹介です。

Ｑ 雫石町に暮らしてみて、いかがですか

Ａ 少し雪が多いような気がしますが、皆さん、あたたかいですね。

Ｑ 町に望むことは

Ａ 若い人が少なくなってきたので、若い人が集まる町にしてもらいたいですね。



東北のアルプスといわれる飯豊山（福島県）で
写真左から 耕造さん、妻の叔父、妻の裕美子さん

情報公開

● 議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳（4月～6月）】

月	葬祭費		お祝い、会費	
4月	0件	0件	2件	6,000円
5月	0件	0件	6件	27,000円
6月	0件	0件	4件	23,000円
合計	0件	0件	12件	56,000円

※議会の動きはHPに掲載しています。

■ 編集デスク

令和初となった6月議会でしたが、定例会同様、任期最後の広報となりました。議会だよりは、その審議内容を公開し、住民と情報の共有を図りながら編集委員全員で向き合ってきました。次号が発行される時には新しいメンバーでスタートが切られます。「分かりやすい広報だね。」となるよう、皆さんも「声」をお寄せ下さい。

（広報広聴常任委員長：山崎留美子）

【訂正とお詫び】

前号の川口一男議員の一般質問ページの町長答弁のなかで、「損益額で394万円の赤字」と表記していましたが、正しくは「黒字」でした。訂正してお詫びいたします。

なかよしシリーズ⑤

今月の
表紙

左から
さいた ひおり
齊田日織さん（10歳）
しゅり
朱莉さん（8歳）
あさひ
朝陽さん（4歳）



さいた りゅうすけ さ ゆり
齊田 龍介さん、早百合さん（八区行政区）のお子さん、なかよし三姉弟です。

将来の夢は何ですか

長女 ひおり 日織さん：ファッションデザイナー

二女 しゅり 朱莉さん：美容師

長男 あさひ 朝陽さん：新幹線の運転士